

眼科学教室業績【2022 年度】

講 演

1. 厚東隆志：手術の art と science. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン.
2022 年 4 月 14 日.
2. 石田友香, 井上真, 北善幸, 廣田和成, 厚東隆志, 平形明人：緑内障に伴う網膜分離症の非手術例の経過についての検討. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン.
2022 年 4 月 14 日.
3. 近藤峰生, 齋藤航, 石田晋, 國吉一樹, 上野真治, 林孝彰, 中野匡, 早川卓浩, 角田和繁, 慶野博, 岡田アナベルあやめ, 中村考介, 秋山英雄：MEWDS の日本人患者の特徴 全身ステロイドの投与が最終視力に及ぼす影響. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 14 日.
4. 望月司, 北善幸, 内田裕規, 齋藤恒浩, 村井颯子, 平形明人：iStent inject W®併用白内障手術の術後成績. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 14 日.
5. 森川葉月, 仁科幸子, 細野克博, 小菅基通, 横井匡, 重安千花, 山田昌和, 深見真紀, 東範行, 堀田喜裕：DCN 変異による先天遺伝性角膜実質ジストロフィーの 1 例. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 14 日.
6. 山田昌和：角膜実質のジストロフィ. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン.
2022 年 4 月 15 日.
7. 水野雅春, 石田友香, 高橋綾, 安藤良将, 加藤悠, 伊東裕二, 廣田和成, 厚東隆志, 井上真, 平形明人：杏林アイセンターにおける裂孔原性網膜剥離に対する年間手術成績. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 15 日.
8. 慶野博：評議員会指名講演：眼炎症性疾患における炎症活動性の定量的評価法の確立と新たな治療戦略を目指して. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 16 日.
9. 竹内大, 臼井嘉彦, 南場研一, 慶野博, 竹内正樹, 高瀬博, 鴨居功樹, 長谷敬太郎, 伊東崇子, 中井慶, 丸山和一, 小林恵里, 堀純子, 真下永, 佐藤智人, 大黒伸行, 岡田アナベルあやめ, 園田康平, 後藤浩, 水木信久：ベーチェット病ぶどう膜炎に対するインフリキシマブ治療の 5 年以上の検討:多施設研究. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 16 日.
10. 岡田アナベルあやめ, 望月學, 大野重昭, 慶野博, 高瀬博, 南場研一, 渡邊交世, 鴨居功樹：SUN ワーキンググループによる 25 のぶどう膜炎疾患の分類基準. 第 126 回日本

眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 16 日.

11. 井上真: 3D モニターHeads-up Surgery における画像鮮明化アルゴリズム機能搭載器の臨床的有用性について. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 17 日.
12. 中山真紀子, 慶野博, 林勇海, 安藤良将, 岡田アナベルあやめ: COVID-19 パンデミックにおける急性期 Vogt-小柳-原田病の治療選択. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 17 日.
13. 江本宜暢, 北善幸, 斎藤恒浩, 望月司, 村井顕子, 平形明人: 原発開放隅角緑内障における視神経乳頭周囲毛細血管密度と視野障害の関係. 第 126 回日本眼科学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 4 月 17 日.
14. Inoue M: Practical application of intraoperative OCT as a guidance for vitreoretinal surgeries. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23. 2022.
15. Koto T: Measuring the color gamut of a monitor for HUS surgery. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23. 2022.
16. Koto T: Retinaws. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23. 2022.
17. Kataoka K, Horiguchi E, Takeuchi J, Tomita R, Asai K, Nakano Y, Ota H, Taki Y, Ito Y, Terasaki H, Nichiguchi K, Okada AA: The effects of photodynamic therapy and smoking on hemodynamics in central serous chorioretinopathy. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23. 2022.
18. Kondo M, Saito W, Ishida S, Kuniyoshi K, Ueno S, Hayashi T, Nakano T, Hayakawa T, Tsunoda K, Keino H, Okada AA, Nakamura K, Akiyama H: Effect of systemic steroid administration on final visual acuity in eyes with multiple evanescent white dot syndrome (MEWDS). FujiRetina 2022. Tokyo. April 24. 2022.
19. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Bridging suture technique to repair iris capture after intrascleral fixation of intraocular lens. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23-24. 2022.
20. Ishida T, Inoue M, Hirakata A: A case of macular edema with racemose hemangioma and multiple evanescent white dot syndrome. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23-24. 2022.
21. Takahashi A, Koto T, Inoue M, Hirakata A: Suprachoroidal hemorrhage associating with 27-gauge pars plana vitrectomy: Report of two cases. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23-24. 2022.
22. Mizuno M, Ishida T, Inoue M, Hirakata A: Maculopathy associated with cavitory optic disc anomalies treated with anti-glaucoma medications. FujiRetina 2022. Tokyo. April 23-24. 2022.

23. Inoue M: 27-gauge dual-blade probe technology as the new standard in complex cases. FLOREtina webinar. オンライン. April 24, 2022.
24. 北善幸: 最新の緑内障手術治療について. 興和株式会社社内研修会. 調布. 2022 年 5 月 9 日.
25. 厚東隆志: DME 治療戦略 2022. Novartis Retina Forum. 東京・オンライン. 2022 年 5 月 14 日.
26. 平形明人: 強度近視眼の網膜硝子体手術の課題. 第 4 回日本近視学会総会. 大阪. 2022 年 5 月 15 日.
27. 厚東隆志: 近視に合併する網膜疾患の診断と治療. 第 4 回日本近視学会総会. 大阪. 2022 年 5 月 15 日.
28. 平形明人: 近視眼の網膜硝子体手術. Fujita Retina Meeting. オンライン. 2022 年 5 月 19 日.
29. 厚東隆志: どうする? 困った糖尿病網膜症. Hill Top Retina Seminar. オンライン. 2022 年 5 月 23 日.
30. 慶野博: 症例から学ぶぶどう膜炎診療～感染性ぶどう膜炎と非感染性ぶどう膜炎の見極めのポイント～. 第 92 回九州眼科学会. 那覇市. 2022 年 5 月 27 日.
31. 慶野博: 症例から学ぶぶどう膜炎診療～感染性ぶどう膜炎と非感染性ぶどう膜炎の見極めのポイント～. 第 5 回北海道ぶどう膜炎 連携フォーラム. 札幌. 2022 年 5 月 28 日.
32. 片岡恵子, 渡邊裕斗, 岡田アナベルあやめ, 平形明人: 当院におけるナビゲーションレーザーシステム Navilas®577s の使用経験第. 12 回東京多摩眼科連携セミナー. オンライン. 2022 年 5 月 28 日.
33. 田邊知佳, 片岡恵子, 中山真紀子, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ: 中心性漿液性脈絡膜網膜症の慢性化に関連する因子の検討. 12 回東京多摩眼科連携セミナー. オンライン. 2022 年 5 月 28 日.
34. 井上真: 基本セッティング. 第 21 回硝子体手術ビデオセミナー. 東京. 2022 年 5 月 29 日.
35. 井上真: Stiff-sleeve. New instruments. 第 21 回硝子体手術ビデオセミナー. 東京. 2022 年 5 月 29 日.
36. 厚東隆志: 糖尿病黄斑浮腫 最新の治療. 鎌倉市・横須賀市眼科医会学術講演会. 横須賀. 2022 年 5 月 31 日.
37. 井上真: やっぱええやん! Digitally Assisted Surgery (NGENUITY, 27G HyperVit, Reflex). 第 4 回眼科 Surgery update seminar in Osaka. 大阪. 2022 年 6 月 4 日.

38. 北善幸：高齢化社会での緑内障現場診療 どのように調べる？F/Uする？治療する？Vol. 3. 多摩地区緑内障勉強会 AYR 2022. オンライン. 2022 年 6 月 4 日.
39. 厚東隆志：硝子体手術のいろはにほへと-眼科手術支援ロボットの可能性を考える-. リバーフィールド株式会社社内講演会. 東京. 2022 年 6 月 9 日.
40. Kondo M, Saito W, Ishida S, Kuniyoshi K, Ueno S, Hayashi T, Nakano T, Hayakawa T, Tsunoda K, Keino H, Okada AA, Nakamura K, Akiyama H: Effect of systemic steroid administration on final visual acuity in eyes with multiple evanescent white dot syndrome (MEWDS). 45th Annual Meeting of the Macula Society. Germany. June 8-11. 2022.
41. 井上真：糖尿病網膜症手術の理想と現実. 札幌眼科カンファレンス 2022. 札幌. 2022 年 6 月 11 日.
42. 厚東隆志：糖尿病網膜症の治療戦略. 中外製薬社内講演会. 東京. 2022 年 6 月 13 日.
43. 平形明人：強度近視眼の網膜硝子体手術の課題. 第 2 回西多摩 Ophthalmic conference. 福生. 2022 年 6 月 17 日.
44. 鈴木由美, 青木貴都, 満川忠宏, 富田茜, 浜由起子, 山田昌和：小児輻輳不全型外斜視に対する Slanted Lateral Rectus Recession 術の効果. 第 78 回日本弱視斜視学会. 宇都宮・オンライン. 2022 年 6 月 17 日.
45. 井上真：症例から学ぶ網膜硝子体手術. 第 4 回網膜硝子体手術 Update in FUKUOKA. 福岡. 2022 年 6 月 17 日.
46. 井上真：糖尿病網膜症への硝子体手術 update. Clinical Update meeting. 川崎. 2022 年 6 月 18 日.
47. Okada AA: Greetings from Tokyo!. Annual Alumni Meeting of the Harvard Department of Ophthalmology. USA・オンライン. June 25. 2022.
48. Inoue M: Practical application of Intraoperative OCT as a guidance for vitreoretinal surgeries. Asia-Pacific Ocular Imaging Society (APOIS) 2022. オンライン. June 25. 2022.
49. Kataoka K: Long-term morphological changes in macular neovascularization under aflibercept treatments with a treat-and-extend regimen. 9th International Symposium Asia Pacific Retinal Imaging Society (APRIS) 2022. オンライン. July 1. 2022.
50. Inoue M: Image Sharpening Technology for 3D Heads up Surgery. 9th International Symposium Asia Pacific Retinal Imaging Society (APRIS) 2022. オンライン. July 1-2. 2022.

51. 中山真紀子, 慶野博, 林勇海, 安藤良将, 岡田アナベルあやめ: COVID-19 ワクチン接種後に発症した眼炎症疾患 8 例における臨床経過. 第 55 回日本眼炎症学会. 広島・オンライン. 2022 年 7 月 8 日.
52. 前田紗知衣, 久須見有美, 安藤良将, 重安千花, 山田昌和: 両眼に Purpureocillium lilacinum 角膜炎を発症した 1 例. 第 58 回日本眼感染症学会. 広島・オンライン. 2022 年 7 月 9 日.
53. 山田昌和: ポストコロナとコンタクトレンズ診療の将来. シンポジウム, ウイズ・ポストコロナの CL 診療. 第 64 回日本コンタクトレンズ学会. 広島・オンライン. 2022 年 7 月 10 日.
54. 田中公二, 丸子一朗, 玉城環, 板垣可奈子, 中山真紀子, 若月優, 小野江元, 和泉雄彦, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 湧川空子, 寺尾信宏, 小笠原雅, 菅野幸紀, 笠井曉仁, 新竹広晃, 山本亜希子, 片岡恵子, 森隆三郎, 古泉英貴, 石龍鉄樹, 岡田アナベルあやめ, 飯田知弘: 治療歴のない滲出型加齢黄斑変性に対する brolocizumab 硝子体内注射の 6 ヶ月成績. 第 38 回日本眼循環学会. 富山・オンライン. 2022 年 7 月 16 日.
55. 太田光, 片岡恵子, 武内潤, 中野友哉子, 堀口悦代, 滝陽輔, 伊藤逸毅, 寺崎浩子, 岡田アナベルあやめ, 西口康二: 加齢黄斑変性に対する brolocizumab へ薬剤変更時の脈絡膜新生血管の変化. 第 38 回日本眼循環学会. 富山・オンライン. 2022 年 7 月 16 日.
56. 井上真: Image sharpening technology for 3D heads-up surgery. Kanagawa Retina Forum 2022. 横浜. 2022 年 7 月 22 日.
57. 井上真: 網膜剥離アップデート - 当院での取り組み -. 第 6 回多摩眼科 3M ネットワーク. 立川. 2022 年 7 月 27 日.
58. 平形明人, 門之園一明: 難治例呈示 (ビデオセッション). 第 26 回網膜ラウンジ. 東京. 2022 年 8 月 20 日.
59. 井上真: ウクライナからの非閉鎖黄斑円孔の 1 例. Japan Macula Club. 蒲郡. 2022 年 8 月 27 日.
60. 井上真: 適切な紹介を考える. Ophthalmic Imaging Channel 2. 東京. 2022 年 9 月 1 日.
61. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Flow dynamics of vitrectomized eyes evaluated by iris fluttering with anterior segment optical coherence tomography. 33rd Meeting of the Club Jules Gonin. Croatia. September 9. 2022.
62. Inoue M: Refractory Macular Hole Management: Tissue Replacement vs. Just ILM Peel: PRO Just ILM Peel. Surgical Controversies in Vitreo-retinal Surgery: The

Debate. WOC virtual. オンライン. September 10. 2022.

63. Inoue M: Clinical use of intraoperative OCT. New Advances in Vitreoretinal Surgery. WOC virtual. オンライン. September 10. 2022.
64. 岡田アナベルあやめ: Border Diseases: メジカルレチナとぶどう膜炎の境界に存在している疾患. 第 17 回 Eye Care Strategy Seminar. 東京. 2022 年 9 月 10 日.
65. Suzuki Y, Tomita A, Inoue M: Eyelash line resection for ciliar entropion in patients with Down's syndrome. The 8th Annual Global Video Contest - American Academy of Ophthalmology. オンライン. September 11. 2022.
66. 矢田長洋, 北善幸, 山本雅, 江本宜暢, 望月司, 斎藤恒浩, 内田裕規, 平形明人: ピロカルピン点眼が閉塞隅角緑内障の虹彩厚に与える影響. 第 33 回日本緑内障学会. 横浜. 2022 年 9 月 16 日.
67. 吉川祐司, 加藤諒, 菅野順二, 北善幸, 篠田啓: 濾過手術後の中心視野感度変化と術前黄斑部血管密度の関連. 第 33 回日本緑内障学会. 横浜. 2022 年 9 月 16 日.
68. Inoue M: Image sharpening algorithm in Heads-up surgery. AAO 2022 gather Video session. USA・オンライン. October 1-3. 2022.
69. 岡田アナベルあやめ: Border Diseases: メジカルレチナとぶどう膜炎の境界に存在している疾患. 第 16 回北陸オフサルミックフォーラム. オンライン. 2022 年 10 月 2 日.
70. 山田昌和: オキュラーサーフェス: 最近の話題. 第 11 回愛宕眼科フォーラム. 東京. 2022 年 10 月 3 日.
71. 山田昌和: ジクアス LX 点眼液 3%の涙液層安定化持続メカニズム. 参天製薬 WEB 講演会. オンライン. 2022 年 10 月 7 日.
72. 慶野博, 齋藤翔子, 佐藤康彦, 杉田直, 宮東昭彦, 中山真紀子, 岡田アナベルあやめ: 転写因子 Nrf2 を介した実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎における炎症制御機構の検討. 第 50 回日本臨床免疫学会総会. 東京. 2022 年 10 月 13 日.
73. 平形明人, Abreu F, Jain N, Tang Y, Camino A, Haskova Z, 村田敏規: Treat – and – Extend – based dosing dynamics with faricimab in diabetic macular edema. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.
74. 富田茜, 鈴木由美, 満川忠宏, 浜由起子, 山田昌和: 手術加療を要した急性後天性共同性内斜視の検討. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.
75. 重安千花, 山田昌和, 宮田世羽, 久須見有美, 白石敦, 内山由里, 松本直通: Peters plus-like 症候群を呈した 8q21.11 微細欠失症候群. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.

76. 長堀克哉, 林勇海, 慶野博, 中山真紀子, 安藤良将, 齋藤翔子, 渡辺交世, 岡田アナベルあやめ: 眼サルコイドーシス国際診断基準の眼所見を用いた特発性ぶどう膜炎の分類. 第 75 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.
77. 山本雅, 久須見有美, 重安千花, 山田昌和: PD-L1 阻害薬 (Atezolizumab) による両眼性の周辺性輪状角膜浸潤の 1 例. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.
78. 佐藤尚人, 向後二郎, 米田一仁, 大澤俊介, 平形明人: インストラクションコース: 硝子体手術クエスチョンバンク薬剤活用編. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.
79. 平塚義宗, 川崎良, 小野浩一, 山田昌和, 山下英俊: 眼科医のための臨床疫学研究デザイン塾 5, 臨床疫学研究論文の組み立て方. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 13 日.
80. 厚東隆志: 網膜硝子体手術, 画像のデジタル化とその進化. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 14 日.
81. 厚東隆志: 超広角眼底画像ケースカンファレンス. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 14 日.
82. 竹内大, 臼井嘉彦, 南場研一, 慶野博, 竹内正樹, 高瀬博, 鴨居功樹, 長谷敬太郎, 伊東崇子, 中井慶, 丸山和一, 小林恵里, 堀純子, 真下永, 佐藤智人, 大黒伸行, 岡田アナベルあやめ, 園田康平, 後藤浩, 水木信久: ベーチェット病ぶどう膜炎に対するインフリキシマブ治療の 10 年の検討: 多施設研究第 2 報. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 14 日.
83. 小野江元, 板垣可奈子, 丸子一朗, 宮良安宣, 中山真紀子, 田中公二, 若月優, 小笠原雅, 向井亮, 和泉雄彦, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 湧川空子, 寺尾信宏, 山本亜希子, 片岡恵子, 岡田アナベルあやめ, 古泉英貴, 飯田知弘, 石龍鉄樹, 森隆三郎: 滲出型加齢黄斑変性に対するラニビズマブのバイオシミラー薬硝子体内注射の短期成績. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 14 日.
84. 山田昌和: ドライアイ: 抗炎症療法の出番. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 15 日.
85. 厚東隆志: 保険からはみ出さない IOL 選択と硝子体手術. 第 56 回 RETIN の会. 東京. 2022 年 10 月 15 日.
86. 小澤仁美, 原章人, 熊井しんたろう, 眞田笑吉, 村野祐司, 梶村陽一, 荻野芳彦, 前田晃宏, 平形明人, 井上真, 厚東隆志: Heads-up surgery システムにおける画像表示特性の評価. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 15 日.

87. 上野勇太, 小田昌宏, 山口剛史, 前田直之, 福岡秀記, 子島良平, 原祐子, 横川英明, 神谷和孝, 山田昌和, 江口洋, 三田村浩人, 臼井智彦, 猪俣武範, 篠崎和美, 堀裕一, 宮崎大, 近間泰一郎, 原田一宏, 岡田由香, 森健策, 大鹿哲郎: 前眼部カラー写真を用いた前眼部疾患 9 分類の AI 自動判定の試み. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 15 日.
88. 太田光, 片岡恵子, 武内潤, 中野友哉子, 堀口悦代, 滝陽輔, 西口康二: aflibercept から brolucizumab に切替えた滲出型加齢黄斑変性の 1 年経過. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 15 日.
89. 山田昌和: ご存じですか? アイフレイル. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 16 日.
90. 厚東隆志: 多量な網膜下血腫を来した症例へのアプローチ. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 16 日.
91. 田邊知佳, 片岡恵子, 吉川祐司, 中山真紀子, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ: 中心性漿液性脈絡網膜症の慢性化に関連する因子の検討. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 16 日.
92. 中村光一, 武内潤, 片岡恵子, 浅井景子, 中野友哉子, 堀口悦代, 滝陽輔, 太田光, 伊藤逸毅, 寺崎浩子, 西口康二: 慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対する半量光線力学療法の成績と黄斑部新生血管の合併率. 第 76 回日本臨床眼科学会. 東京・オンライン. 2022 年 10 月 16 日.
93. 川崎良, 阿久根陽子, 平塚義宗, 山田昌和: AI 自動診断システムを糖尿病網膜症のスクリーニングに導入する際の費用対効果. 第 28 回日本糖尿病眼学会. 京都・オンライン. 2022 年 10 月 21 日.
94. 福田泰雄, 石田友香, 井上真: 術後眼内炎との鑑別を要した未治療糖尿病患者の白内障術後早期の糖尿病性虹彩炎の一例. 第 28 回日本糖尿病眼学会総会. 京都・オンライン. 2022 年 10 月 22 日.
95. 厚東隆志: Optos でここが見たい! 撮りたい! コツを教えます!. 第 63 回日本視能矯正学会. 大阪・オンライン. 2022 年 10 月 22-23 日.
96. 石田友香: 日常臨床における広角眼底写真 Optos の活用方法. 第 63 回日本視能矯正学会. 大阪・オンライン. 2022 年 10 月 22-23 日.
97. 厚東隆志: レアケースから思う網膜硝子体の病態生理. THE VITRECTOMY 2022. オンライン. 2022 年 10 月 26 日.
98. 北善幸: 緑内障手術治療—観血的治療法の選択とタイミング—. Tokyo Ailamide Week アイラミド配合懸濁性点眼液発売 2 周年記念. オンライン. 2022 年 10 月 27 日.

99. 厚東隆志：糖尿病黄斑浮腫の診断と治療．第 11 回多摩眼科学術セミナー．東京．2022 年 10 月 29 日．
100. 水野雅春：杏林アイセンターにおけるコロナ禍の裂孔原性網膜剥離に対する手術成績．第 24 回西東京眼科フォーラム．東京．2022 年 11 月 2 日．
101. 安藤良将，山本雅，松本杏奈，久須見有美，藤井かな，重安千花，山田昌和：アトピー性皮膚炎患者の結膜嚢常在細菌叢と内眼手術．第 24 回西東京眼科フォーラム．東京．2022 年 11 月 2 日．
102. 井上真：糖尿病網膜症治療アップデート．第 11 回帝京川崎眼科病診連携の会．川崎．2022 年 11 月 5 日．
103. 平形明人：強度近視眼の網膜硝子体手術の課題．第 139 回佐賀大学眼科臨床懇話会．オンライン．2022 年 11 月 5 日．
104. 山田昌和：ドライアイ診療アップデート．瀬戸内眼科コロシウム 2022．広島・オンライン．2022 年 11 月 5 日．
105. 平形明人：強度近視眼の網膜硝子体手術の課題．瀬戸内眼科コロシウム 2022．広島・オンライン．2022 年 11 月 6 日．
106. 井上真：糖尿病網膜症への治療戦略．Diabetes Mellitus Joint Meeting．さいたま・オンライン．2022 年 11 月 11 日．
107. 井上真：糖尿病と眼病変～目からうろこの話．杏林医学会総会・市民公開講演会．オンライン．2022 年 11 月 19 日．
108. 慶野博，中山真紀子，岡田アナベルあやめ：杏林アイセンターにおける特発性ぶどう膜炎患者の臨床像と視力予後の検討．第 51 回杏林医学会総会．三鷹．2022 年 11 月 19 日．
109. Ishida T: Proliferative vitreoretinopathy in pediatric cases. the 15th Asia-Pacific Vitreo-retina Society (APVRS). Taiwan. November 19. 2022.
110. 渡辺龍之介，矢田長洋，山本雅，北善幸，山田昌和：低侵襲緑内障手術中に上脈絡膜出血を起こした 1 例．第 65 回東京多摩地区眼科集談会．三鷹．2022 年 11 月 19 日．
111. 山田昌和：アイフレイルと成人眼科検診．ビジョンケアセミナー2022．オンライン．2022 年 11 月 23 日．
112. 岡田アナベルあやめ：Border diseases: disorders that exist between uveitis and medical retina. 107th Retinal Lesion Discussion Meeting. 第 107 回網膜病変談話会．東京・オンライン．2022 年 11 月 24 日．
113. 北善幸：新しい緑内障手術治療とレーザー治療．第 3 回西多摩 Ophthalmic conference．立川．2022 年 11 月 25 日．

114. 安藤理恵, 吉野浩, 宮澤永尚, 弦間友紀, 永根基雄, 鈴木由美, 成田雅美: 片眼失明後, 対側に発症した視神経膠腫に対し化学療法で視機能を温存している神経線維腫 I 型の一例. 第 64 回小児血液・がん学会学術集会. 東京. 2022 年 11 月 25 日.
115. 山田昌和: ご存じですか? アイフレイル. 東京都眼科医会 目の健康講座. オンライン. 2022 年 11 月 26 日.
116. 井上真: 3D Heads-up 硝子体手術. -リアルタイム画像鮮明化装置 MIEr - 術中動画像リアルタイム鮮明化の有用性を検証する. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
117. 厚東隆志, 廣田和成, 水野雅春, 石田友香, 吉川祐司, 中島康介, 高橋綾, 井上真: 杏林アイセンターにおける開放性眼外傷に対する一期的硝子体手術成績の検討. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
118. 片岡恵子, 向井亮, 湧川空子, 田中公二, 丸子一朗, 中山真紀子, 山本亜希子, 板垣可奈子, 小笠原雅, 本庄純一郎, 寺尾信宏, 宮良安宣, 小野江元, 若月優, 和泉雄彦, 河合萌子, 丸子留佳, 長谷川泰司, 森隆三郎, 古泉英貴, 石龍鉄樹, 飯田知弘, 岡田アナベルあやめ: aflibercept から faricimab への切り替えによる短期的効果. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
119. 片岡恵子: 抗 VEGF 薬の使い分け. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
120. 吉川祐司, 中島康介, 高橋綾, 水野雅春, 石田友香, 廣田和成, 厚東隆志, 井上真: 硝子体術後低眼圧と眼底自発蛍光検査で検出される線状低蛍光との関連の検討. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
121. 榮木悠, 吉川祐司, 片岡恵子, 熊谷知幸, 勝本武志, 渋谷雅之, 蒔田潤, 篠田啓: ポリブ状脈絡膜血管症に対する STTA 併用ブロールズマブ硝子体注射導入機の検討. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
122. Ohji M, Okada AA, Takahashi K, Machewitz T, Sasaki K, on behalf of the ALTAIR study investigators: Association of early fluid status with last treatment interval in AMD: ALTAIR. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
123. Inoda S, Takahashi H, Honda S, Kohno T, Nagai Y, Ohnaka M, Okada AA, Nakayama M, Matsumoto H, Mukai R, Kusuhara S, Inoue Y, Iida T, Maruko I, Hayashi A, Nishiguchi K, Nishiguchi J, Mori R, Tanaka K, Sekyiru T, Itagaki K, Inoue M, Ikeda S, Koziumi H, Miyahara Y, Yanagi Y: Intraocular inflammation following intravitreal brolocizumab for neovascular age-related macular

- degeneration in Japanese patients: meta-analysis using individual patient data. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 2 日.
124. 石田友香, 平形明人, 厚東隆志, 廣田和成, 水野雅春, 井上真: 裂孔原性網膜剥離の僚眼における網膜周辺部色素性変化を伴う変性の OCT 所見. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 3 日.
125. 村田敏規, Haskova Z, Lin H, Mohan S, Silverman D, Tang Y, 平形明人: Faricimab in diabetic macular edema: 2-year results from YOSEMITE and RHINE. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 3 日.
126. 近藤峰生, 齋藤航, 石田晋, 國吉一樹, 上野真治, 林孝彰, 中野匡, 早川卓浩, 角田和繁, 慶野博, 岡田アナベルあやめ, 中村考介, 秋山英雄: 多発消失性白点症候群 (MEWDS) の初診時視力に影響を与える因子. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 3 日.
127. 厚東隆志: 術中 OCT 基本と応用. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 4 日.
128. 福田泰雅, 石田友香, 中島康介, 吉川祐司, 高橋綾, 水野雅春, 廣田和成, 厚東隆志, 井上真: 黄斑円孔手術における腹臥位による術後網膜内出血の頻度. 第 61 回日本網膜硝子体学会総会. 大阪・オンライン. 2022 年 12 月 4 日.
129. 厚東隆志: 手術の Art と Science. Fukuoka Vitrectomy Update Seminar. 福岡. 2022 年 12 月 9 日.
130. 井上真: デジタル支援硝子体手術. 第 53 回東京都眼科医会研修会. オンライン. 2022 年 12 月 10 日.
131. 北善幸: 新しい緑内障手術治療とレーザー治療. ロートニッテン株式会社社内講師招聘勉強会. オンライン. 2022 年 12 月 12 日.
132. Inoue M: Image sharpening algorithm for 3D Heads-up surgery. PCV Summit 2023. オンライン. December 23. 2022.
133. Okada AA : Management of VKH disease. International Uveitis Study Group webinar 23. オンライン. January 6. 2023.
134. 井上真: 症例から学ぶ網膜硝子体手術戦略. 第 55 回神奈川県眼科臨床談話会. 川崎. 2023 年 1 月 9 日.
135. 北善幸: おさえておこう! 新しい緑内障手術. グラナテック点眼液 0.4% web カンファレンス. オンライン. 2023 年 1 月 12 日.
136. 井上真: 症例報告. 第 6 回 MIOS の会. 東京. 2023 年 1 月 28 日.
137. 井上真: 黄斑円孔における visco-dissection. 硝子体手術フォーラム 2023. 留寿都.

2023 年 2 月 4 日.

138. 厚東隆志：網膜芽細胞腫治療中に増殖硝子体網膜症を合併した一例. 硝子体手術フォーラム 2023. 留寿都. 2023 年 2 月 4 日.
139. 石田友香：小児 PVR の一例. 硝子体手術フォーラム 2023. 留寿都. 2023 年 2 月 4 日.
140. 水野雅春：慢性外傷による深部裂孔の網膜剥離. 硝子体手術フォーラム 2023. 留寿都. 2023 年 2 月 4 日.
141. 山田昌和, 松本杏奈, 山本雅：新知りオネア！あなたを”角”付けチェック. 角膜カンファレンス 2023. 横浜・オンライン. 2023 年 2 月 9 日.
142. 篠崎昌俊, 重安千花, 久須見有美, 厚東隆志, 北善幸, 山田昌和：Posterior corneal vesicle 様の内皮病変を伴った Rieger 異常の 1 例. 角膜カンファレンス 2023. 横浜・オンライン. 2023 年 2 月 10 日.
143. 久須見有美, 重安千花, 山本雅, 安藤良将, 松本杏奈, 藤井かんな, 山田昌和：角膜内皮異常眼の角膜形状解析. 角膜カンファレンス 2023. 横浜・オンライン. 2023 年 2 月 10 日.
144. 中村翔, 青木貴郁, 秋山陽一, 重安千花, 久須見有美, 山田昌和：ソフトコンタクトレンズ装用に伴う涙液層の評価. 角膜カンファレンス 2023. 横浜・オンライン. 2023 年 2 月 10 日.
145. Inoue M: Application of Intraoperative OCT. Surgical Retina Webinar. オンライン. February 11. 2023.
146. 石田友香：若年者の RRD. 令和レチナの会. 東京. 2023 年 2 月 19 日.
147. Inoue M: Autologous Retinal Transplantation for Macular Atrophy. The 38th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO). Malaysia. February 23. 2023.
148. Inoue M: Intraoperative OCT. The 38th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO). Malaysia. February 26. 2023.
149. Inoue M: Heads-up Surgery for Complicated Cases. The 38th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO). Malaysia. February 26. 2023.
150. Kataoka K: Challenges in Management of Macular Neovascularization in Pathologic Myopia. The 38th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO). Malaysia. February 26. 2023.
151. Suzuki Y, Mitsukawa T, Hama Y, Tomita A, Yamada M: Slanted lateral rectus recession for exotropia with convergence insufficiency in children. The 38th Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Congress (APAO). Malaysia. February 23-26. 2023.

152. 石田友香：杏林アイセンターの小児手術の現状と課題．ホープの会．東京．2023 年 3 月 1 日．
153. 岡田アナベルあやめ：Border diseases, COVID vaccines and thoughts about uveitis. 第 47 回ぶどう膜炎カンファレンス．東京．2023 年 3 月 3 日．
154. 井上真：糖尿病黄斑浮腫治療アップデート．第 4 回岩手眼科フォーラム．オンライン．2023 年 3 月 4 日．
155. 井上真：ガイドラインから学ぶ糖尿病網膜症への治療アップデート．第 19 回神奈川県眼科 DM カンファレンス．川崎．2023 年 3 月 11 日．
156. 井上真：DME の現状と問題点．中外製薬社内講演会．いわき．2023 年 3 月 14 日．
157. Inoue M: Complicated macular hole, hydrodissection or ART. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 25. 2023.
158. Kataoka K, Takeuchi J, Ota H, Nakano Y, Horiguchi E, Taki Y, Nakayama M, Yamamoto A, Ito Y, Terasaki H, Nishiguchi KM, Okada AA: Treatment outcomes of half-dose photodynamic therapy combined with aflibercept for pachychoroid neovascularopathy. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 25. 2023.
159. Ishida T: Treatment for the pediatric PVR cases. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 25. 2023.
160. Mizuno M, Nakajima K, Takahashi A, Ishida T, Hirota K, Koto T, Hirakata A, Inoue M: Effect of the COVID-19 Pandemic on Surgical Outcomes for Rhegmatogenous Retinal Detachments. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 25. 2023.
161. Tanabe C, Kataoka K, Yoshikawa Y, Nakayama M, Yamamoto A, Okada AA: Exploring factors associated with chronicity of central serous chorioretinopathy. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 25. 2023.
162. Inoue M: Retinaws. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 26. 2023.
163. Kataoka K: Panel session 2 What is the diagnosis?. FujiRetina 2023. Tokyo・オンライン．March 26. 2023.

論文

1. Abe S, Nakamura T, Okumura E, Oiwake T, Okada AA, Hayashi A: Long-term changes of choroidal blood flow velocity in Vogt-Koyanagi-Harada disease. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 260:1933-1939. 2022.
2. Doi S, Kimura S, Saito S, Inoue M, Sakurai T, Kobori A, Hisatomi T, Imai H, Kuriyama S, Takasu I, Hosokawa MM, Shiode Y, Matoba R, Suzuki E, Morizane Y:

Impact of macular intraretinal hemorrhage and macular hole on the visual prognosis of submacular hemorrhage due to retinal arterial microaneurysm rupture. *Retina*. 43:585-593. 2023.

3. Habot-Wilner Z, Neri P, Okada AA, Agrawal R, Le NX, Cohen S, Fischer N, Kilmartin F, Coman A, Kilmartin D: COVID vaccine-associated uveitis. *Ocul Immunol Inflamm*. 2023. DOI:10.1080/09273948.2023.2200858. [Web 公開]
4. Hayashi I, Keino H, Inoue M, Okada AA: Compromised blood flow of the optic nerve head in acute retinal necrosis. *Clin Exp Ophthalmol*. 50:685-687. 2022.
5. Horiguchi E, Takeuchi J, Tomita R, Asai K, Nakano Y, Ota H, Taki Y, Ito Y, Terasaki H, Nishiguchi KM, Kataoka K: Choroidal hemodynamics in central serous chorioretinopathy after half-dose photodynamic therapy and the effects of smoking. *Sci Rep*. 12:17032. 2022. DOI:10.1038/s41598-022-21584-8.
6. Inoue M, Koto T, Hirakata A: Large amplitude iris fluttering detected by consecutive anterior segment optical coherence tomography images in eyes with intrascleral fixation of an intraocular lens. *J Clin Med*. 11:4596. 2022. DOI:10.3390/jcm11154596.
7. Inoue M, Koto T, Ota Y, Bissen-Miyajima H, Hirakata A: Evaluations of bridging sutures in preventing iris capture in eyes with intrascleral fixation of implanted intraocular lens. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol*. 261:427-434, 2023.
8. Jabs DA, Okada AA, McCluskey P: Response to Letter Reply to Comment on: "Classification criteria for Vogt-Koyanagi-Harada disease". *Am J Ophthalmol*. 244:230-231. 2022.
9. Jabs DA, McCluskey P, Palestine AG, Thorne JE, Standardization of Uveitis Nomenclature (SUN) Working Group (Okada AA): The Standardization of Uveitis Nomenclature (SUN) project. *Clin Exp Ophthalmol*. 2022. DOI:10.1111/ceo.14175 [Web 公開]
10. Kawano S, Imai T, Sakamoto T; Japan-Retinal Detachment Registry Group (Hirakata A): Differences in primary retinal detachment surgery conducted on holidays and workdays analyzed using the Japan Retinal Detachment Registry. *Jpn J Ophthalmol*. 66:271-277. 2022.
11. Keino H, Aman T, Furuya R, Nakayama M, Okada AA, Sunayama W, Hatanaka Y: Automated quantitative analysis of anterior segment inflammation using swept-source anterior segment optical coherence tomography: A Pilot Study. *Diagnostics (Basel)*. 12:2703. 2022. DOI:10.3390/diagnostics12112703.

12. Keino H, Wakitani T, Sunayama W, Hatanaka Y: Quantitative Analysis of Retinal Vascular Leakage in Retinal Vasculitis Using Machine Learning. *Appl Sci.* 12:12751. 2022. <https://doi.org/10.3390/app122412751>.
13. Kita Y, Holló G, Mochizuki T, Emoto Y, Kita R, Hirakata A: Effect of topical pilocarpine instilled before laser peripheral iridotomy on regional iris thickness in primary angle closure disease: A Swept-Source Anterior Segment Optical Coherence Tomography Pilot Study. *Semin Ophthalmol.* 2023. DOI:10.1080/08820538.2023.2169580. [Web 公開]
14. Kusuhara S, Shimura M, Kitano S, Sugimoto M, Muramatsu D, Fukushima H, Takamura Y, Matsumoto M, Kokado M, Kogo J, Sasaki M, Morizane Y, Utsumi T, Kotake O, Koto T, Terasaki H, Hirano T, Ishikawa H, Mitamura Y, Okamoto F, Kinoshita T, Kimura K, Yamashiro K, Suzuki Y, Hikichi T, Washio N, Sato T, Ohkoshi K, Tsujinaka H, Kondo M, Takagi H, Murata T, Sakamoto T; Japan Clinical Retina Study (J-CREST) group: Treatment of diabetic macular edema in real-world clinical practice: The effect of aging. *J Diabetes Investig.* 13:1339-1346.2022.
15. Mizuno M, Nakajima K, Takahashi A, Ishida T, Hirota K, Koto T, Hirakata A, Inoue M: Effect of the COVID-19 Pandemic on surgical outcomes for rhegmatogenous retinal detachments. *J Clin Med.* 12:1522. 2023. DOI:10.3390/jcm12041522.
16. Mori R, Honda S, Gomi F, Tsujikawa A, Koizumi H, Ochi H, Ohsawa S, Okada AA: Efficacy, durability, and safety of faricimab up to every 16 weeks in patients with neovascular age-related macular degeneration: 1-year results from the Japan subgroup of the phase 3 TENAYA trial. *Jpn J Ophthalmol.* 2023. DOI:10.1007/s10384-023-00985-w. [Web 公開]
17. Morikawa H, Nishina S, Torii K, Hosono K, Yokoi T, Shigeyasu C, Yamada M, Kosuga M, Fukami M, Saitsu H, Azuma N, Hori Y, Hotta Y: A pediatric case of congenital stromal corneal dystrophy caused by the novel variant c.953del of the DCN gene. *Hum Genome Var.* 10:9. 2023. DOI:10.1038/s41439-023-00239-8.
18. Nagahori K, Keino H, Nakayama M, Watanabe T, Ando Y, Hayashi I, Abe S, Okada AA: Clinical features and visual outcomes of ocular sarcoidosis at a tertiary referral center in Tokyo. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.* 260:3357-3363. 2022.
19. Nakajima K, Inoue M, Mizuno M, Koto T, Ishida T, Ozawa H, Oshika T: Effects of image-sharpening algorithm on surgical field visibility during 3D heads-up surgery for vitreoretinal diseases. *Sci Rep.* 13:2758. 2023. DOI:10.1038/s41598-023-29882-5.

20. Nakajima K, Inoue M, Takahashi A, Yoshikawa Y, Mizuno M, Koto T, Ishida T, Oshika T: Image sharpening algorithms improve clarity of surgical field during 3D heads-up surgery. *Int J Retina Vitreous*. 9:21. 2023. DOI:10.1186/s40942-023-00462-z.
21. Nakamura K, Takeuchi J, Kataoka K, Ota H, Asai K, Nakano Y, Horiguchi E, Taki Y, Ito Y, Terasaki H, Nishiguchi KM: Effects of half-dose photodynamic therapy on chronic central serous chorioretinopathy with or without macular neovascularization assessed using optical coherence tomography angiography. *Retina*. 42:2346-2353. 2022.
22. Nakano Y, Takeuchi J, Horiguchi E, Ota H, Taki Y, Ito Y, Terasaki H, Nishiguchi KM, Kataoka K: Long-term morphologic changes in macular neovascularization under aflibercept treatment with a treat-and-extend regimen. *Retina*. 43:412-419. 2023.
23. Nakayama M, Okada AA, Hayashi I, Keino H: COVID-19 vaccination-related intraocular inflammation in Japanese patients. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol*. 261:897-899. 2023.
24. Nakayama M, Keino H, Watanabe T, Okada AA: Prognostic value of subfoveal choroidal thickness in new-onset acute Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Clin Exp Ophthalmol*. 50:678-680. 2022.
25. Noji S, Mizuno M, Inoue M, Koto T, Hirakata A: Characteristics of subretinal particles detected after pars plana vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment. *BMC Ophthalmol*. 23:115. 2023. DOI:10.1186/s12886-023-02865-w.
26. Okada AA, Takahashi K, Ohji M, Moon SC, Machewitz T, Sasaki K, ALTAIR Study Investigators: Efficacy and safety of intravitreal aflibercept treat-and-extend regimens in exudative age-related macular degeneration: 96-week outcomes in the polypoidal choroidal vasculopathy subgroup. *Adv Ther*. 39:2984-2998. 2022.
27. Saito S, Keino H, Takasaki I, Abe S, Kohno H, Ichihara K, Hayashi I, Nakayama M, Tsuboshita Y, Miyoshi S, Okamoto S, Okada AA: Comparative analysis of serum microRNA in diagnosed ocular sarcoidosis versus idiopathic uveitis with ocular manifestations of sarcoidosis. *Int J Mol Sci*. 23:10749. 2022. DOI:10.3390/ijms231810749.
28. Sakamoto T, Terasaki H, Yamashita T, Shiihara H, Funatsu R, Uemura A; Japanese Retina and Vitreous Society (Hirakata A, Mizuno M): Increased incidence of endophthalmitis after vitrectomy relative to face mask wearing during COVID-19

pandemic. *Br J Ophthalmol*. 2023. DOI:10.1136/bjophthalmol-2022-321357. [Web 公開]

29. Sato Y, Saito S, Nakayama M, Sugita S, Kudo A, Keino H: Genetic ablation of Nrf2 exacerbates neuroinflammation in ocular autoimmunity. *Int J Mol Sci*. 23:11715. 2022. DOI:10.3390/ijms231911715.
30. Shimura M, Kitano S, Ogata N, Mitamura Y, Oh H, Ochi H, Ohsawa S, Hirakata A; YOSEMITE and RHINE Investigators: Efficacy, durability, and safety of faricimab with extended dosing up to every 16 weeks in Japanese patients with diabetic macular edema: 1-year results from the Japan subgroup of the phase 3 YOSEMITE trial. *Jpn J Ophthalmol*. 67:264-279. 2023.
31. Shigeyasu C, Yamada M, Miyata Y, Uchiyama Y, Matsumoto N, Kusumi Y, Shiraishi A: Ocular Manifestations of Peters Plus-like Syndrome in 8q21.11 Microdeletion Syndrome. *Cornea*. 2023. DOI:10.1097/ICO.0000000000003281. [Web 公開]
32. Takeuchi M, Usui Y, Namba K, Keino H, Takeuchi M, Takase H, Kamoi K, Hase K, Ito T, Nakai K, Maruyama K, Kobayashi E, Mashimo H, Sato T, Ohguro N, Hori J, Okada AA, Sonoda KH, Mizuki N, Goto H: Ten-year follow-up of infliximab treatment for uveitis in Behcet disease patients: a multicenter study. *Frontiers Med (Lausanne)*. 2023. eCollection. DOI:10.3389/fmed.2023.1095423. [Web 公開]
33. Takeuchi J, Ota H, Nakano Y, Horiguchi E, Taki Y, Ito Y, Terasaki H, Nishiguchi KM, Kataoka K: Predictive factors for outcomes of half-dose photodynamic therapy combined with aflibercept for pachychoroid neovascularopathy. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol*. 2023. DOI:10.1007/s00417-023-06030-3. [Web 公開]
34. Taki Y, Ito Y, Takeuchi J, Ito H, Nakano Y, Sajiki AF, Horiguchi E, Ota H, Kataoka K, Terasaki H: Displacement of the retina and changes in the foveal avascular zone area after internal limiting membrane peeling for epiretinal membrane. *Jpn J Ophthalmol*. 67:74-83. 2023.
35. Tanaka K, Koizumi H, Tamashiro T, Itagaki K, Nakayama M, Maruko I, Wakugawa S, Terao N, Onoe H, Wakatsuki Y, Kasai A, Ogasawara M, Shintake H, Sugano Y, Yamamoto A, Kataoka K, Hasegawa T, Izumi T, Kawai M, Maruko R, Sekiryu T, Okada AA, Iida T, Mori R: Short-term results for brolucizumab in treatment-naïve neovascular age-related macular degeneration: a Japanese multicenter study. *Jpn J Ophthalmol*. 66(4). 379-385. 2022.
36. Umazume A, Ohguro N, Okada AA, Namba K, Sonoda K, Tsuruga H, Morita K, Goto H: Use of systemic corticosteroids in patients newly diagnosed with non-

- infectious uveitis: results from a real-world database analysis. *Jpn J Ophthalmol.* 66(4). 394-404. 2022.
37. Ung C, Yonekawa Y, Chung MM, Berrocal AM, Kusaka S, Oshima Y, Chan RVP, Inoue M, Read SP, Kuriyan AE, Todorich B, Thanos A, Thomas BJ, Wolfe JD, Hassan TS, Capone A Jr: 27-Gauge pars plana/plicata vitrectomy for pediatric vitreoretinal surgery. *Retina.* 43(2). 238-242. 2023.
38. Watanabe T, Hiratsuka Y, Kita Y, Tamura H, Kawasaki R, Yokoyama T, Kawashima M, Nakano T, Yamada M: Combining Optical Coherence Tomography and Fundus Photography to Improve Glaucoma Screening. *Diagnostics (Basel).* 12(5). 1100. 2022.
39. Yamakiri K, Sakamoto T, Koriyama C, Kawasaki R, Baba T, Nishitsuka K, Koto T, Terasaki H; Japan Retinal Detachment Registry (Hirakata A): Effect of surgeon-related factors on outcome of retinal detachment surgery: analyses of data in Japan-retinal detachment registry. *Sci Rep.* 12(1). 4213. 2022.
40. Yasaka Y, Hasegawa E, Keino H, Usui Y, Maruyama K, Yamamoto Y, Kaburaki T, Iwata D, Takeuchi M, Kusuhara S, Takase H, Nagata K, Yanai R, Kaneko Y, Iwahashi C, Fukushima A, Ohguro N, Sonoda KH; JOIS Uveitis Survey Working Group: A multicenter study of ocular inflammation after COVID-19 vaccination. *Jpn J Ophthalmol.* 67(1). 14-21. 2023.
41. Yogeswaran K, Furtado JM, Bodaghi B, Matthews JM, International Ocular Toxoplasmosis Study Group (including Okada AA), Smith JR: Current practice in the management of ocular toxoplasmosis. *Br J Ophthalmol.* 2022. DOI:10.1136/bjophthalmol-2022-321091. Online ahead of print.
42. Yoshida Y, Ono K, Tano T, Hiratsuka Y, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Yamada M, Fukuhara S, Murakami A: Corneal Eccentricity in a Rural Japanese Population: The Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Ophthalmic Epidemiol.* 29(5). 531-536. 2022.
43. Yoshikawa Y, Koto T, Ishida T, Uehara T, Yamada M, Kosaki K, Inoue M: Rhegmatogenous retinal detachment in musculocontractural Ehlers-Danlos syndrome caused by biallelic loss-of-function variants of gene for dermatan sulfate epimerase. *J Clin Med.* 12(5). 1728. 2023.
44. 井上真：機器・薬剤紹介 医療用リアルタイム画像鮮明化装置 MIEr（ロジック・アンド・デザイン）。眼科。65 巻 3 号。2023。271-276。

45. 井上真：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 感染性眼内炎. 日本医事新報. 5127 号. 49-50. 2022.
46. 井上真：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 黄斑円孔. 日本医事新報. 5128 号. 51-52. 2022.
47. 岡田アナベルあやめ：Standardization of Uveitis Nomenclature (SUN) ワーキンググループの機械学習によるぶどう膜炎分類基準. 日眼会誌. 126 巻(10). 907-916. 2022.
48. 山田昌和, 平塚義宗：特定健診における眼底検査のリポジショニング. 日の眼科. 93 巻(4). 484-485. 2022.
49. 山田昌和：角結膜疾患の病診連携 角結膜疾患の他科連携. あたらしい眼科. 39 巻(臨増). 199-203. 2022.
50. 山田昌和：角膜の生理とコンタクトレンズ. 日コレ誌. 64 巻(2). 72-76. 2022.
51. 山田昌和：涙液の生理とコンタクトレンズ. 日コレ誌. 64 巻(4). 162-167. 2022.
52. マイボーム腺機能不全診療ガイドライン作成委員会（山田昌和, 重安千花）：マイボーム腺機能不全診療ガイドライン. 日眼会誌. 127 巻(2). 109-228. 2023.
53. 慶野博, 齋藤翔子, 中山真紀子, 林勇海, 長堀克哉, 安藤良将, 佐藤康彦, 岡田アナベルあやめ, 阿部慎也, 神野英生, 市原巧介, 砂山渡, 畑中裕司, 坪下幸寛, 高崎一郎, 宮東昭彦, 杉田直：眼科診断・治療のイノベーション 眼炎症性疾患における炎症活動性の定量的評価法の確立と新たな治療戦略を目指して. 日眼会誌. 127 巻(3). 367-398. 2023.
54. 慶野博：眼科医の手引き 学術委員会編 小児ぶどう膜炎初期診療の手引き. 日の眼科. 93 巻(5). 640-641. 2022.
55. 慶野博：【知っておきたい OCT, OCTA の活用法 わかりやすい臨床講座】OCT, OCTA を活用したぶどう膜炎診療. 日の眼科. 93 巻(6). 756-762. 2022.
56. 慶野博：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 強膜炎, 上強膜炎. 日本医事新報. 5145 号. 46-47. 2022.
57. 厚東隆志：【眼科再手術】黄斑疾患の再手術. 眼科手術. 35 巻(4). 542-550. 2022.
58. 鈴木由美：治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 睫毛内反. 日本医事新報. 5112 巻. 50-51. 2022.
59. 片岡恵子, 渡邊裕斗, 岡田アナベルあやめ, 平形明人：当院におけるナビゲーションレーザシステム Navilas®577s の使用経験第. 眼臨紀. 16 巻(1). 56. 2023.

60. 片岡恵子：【最新臨床研究から探る眼科臨床のギモン Q&A】網膜硝子体 全身副作用の発現頻度は抗 VEGF 薬の種類によって異なりますか？. 臨眼. 76 巻(11). 218-220. 2022.
61. 片岡恵子：【眼科外来診療クオリティアップ】メディカルレティナ 抗 VEGF 薬硝子体内注射の流れ. あたらしい眼科. 39 巻臨増. 271-275. 2022.
62. 片岡恵子：【眼科医が知っておきたい薬剤の副作用】抗 VEGF 薬の副作用. あたらしい眼科. 40 巻(1). 57-60. 2023.
63. 水野雅春, 石田友香, 高橋綾, 安藤良将, 加藤悠, 伊東裕二, 廣田和成, 厚東隆志, 井上真, 平形明人：裂孔原性網膜剝離に対する非復位因子の検討. 日眼会誌. 127 巻(2). 85-91. 2023.
64. 水野雅春：手術手技のコツ 難治性黄斑円孔に対する意図的黄斑剝離を併用した硝子体手術. 眼科手術. 35 巻(4). 630-632. 2022.
65. 矢田長洋, 鈴木由美, 満川忠宏, 浜由起子, 富田茜, 山田昌和：小児期発症の内斜視術後に外斜視に移行した症例の検討. 眼科. 64 巻(4). 365-371. 2022.
66. 伊藤大, 山田健司, 重安千花, 柳沼重晴, 久須見有美, 山田昌和：慢性涙嚢炎を背景とした大腸菌感染により角膜穿孔を呈した 1 例. 臨眼. 76 巻(6). 747-752. 2022.
67. 熊谷真里子, 中山真紀子, 江本宣暢, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ：網膜色素線条に合併した脈絡膜新生血管に対する抗血管内皮増殖因子の治療成績. あたらしい眼科. 39 巻(9). 1277-1280. 2022.
68. 大岩未来, 鈴木由美, 富田茜, 満川忠宏, 北善幸, 山田昌和：小児における斜視手術後副腎皮質ステロイド点眼による眼圧への影響. 日眼会誌. 126 巻(12). 1039-1045. 2022.
69. 田邊知佳, 片岡恵子, 中山真紀子, 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ：中心性漿液性脈絡網膜症(CSC)の慢性化に関連する因子の検討. 眼臨紀. 16 巻(1). 56. 2023.
70. 重安千花, 山田昌和：コンタクトレンズによる重篤な眼障害の全国調査より得たこと. 臨眼. 76 巻(9). 1193-1199. 2022.
71. 重安千花, 山田昌和：【指定難病と医療助成】前眼部形成異常・無虹彩症. あたらしい眼科. 39 巻(12). 1571-1577. 2022.
72. 重安千花, 山田昌和：コンタクトレンズによる重篤な眼障害の全国調査のご紹介. 日の眼科. 93 巻(7). 902-903. 2022.
73. 新井千賀子, 尾形真樹, 小田浩一, 平形明人：読書用ロービジョンエイドの選定に関するアウトカム研究. 臨眼. 76 巻(10). 1408-1415. 2022.

74. 米谷昇子, 篠崎優子, 鈴木由美: 小児眼科手術におけるプレパレーションの取り組み.
日視機能看会誌. 7 巻. 6-9. 2022.

令和3年度追加分

1. 多田明日美, 岩橋千春, 中井慶, 南場研一, 岡田アナベルあやめ, 慶野博, 高瀬博, 福田祥子, 後藤浩, 臼井嘉彦, 蕪城俊克, 水木信久, 安積淳, 園田康平, 武田篤信, 大黒伸行: 結核性ぶどう膜炎の臨床像と治療の検討. 日眼会誌. 125 巻(4). 415-424. 2021.

著 書

1. 井上真 (分担執筆): 外傷性黄斑円孔. 新篇眼科プラクティス 5 眼科救急治療-まったなし! 急がば学べ-. 恩田秀寿, 大鹿哲郎編集. 文光堂. 2022. 56-60.
2. 井上真 (分担執筆): 黄斑パッカー. 眼科臨床エキスパート 黄斑疾患診療 A to Z 第2版. 岸章治, 吉村長久編集. 医学書院. 2022. 156-162.
3. 井上真 (分担執筆): 黄斑上膜. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一編集. 医学書院. 2022. 669-671.
4. 井上真 (分担執筆): 硝子体黄斑牽引症候群. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一編集. 医学書院. 2022. 671.
5. 平形明人 (分担執筆): 乳頭ピット (小窩) 黄斑症. 新篇眼科プラクティス 3 OCT と OCTA が, わかる! 役立つ!. 近藤峰生編集. 文光堂. 2022. 72-74.
6. 平形明人 (分担執筆): 乳頭ピット (小窩) 黄斑症. 眼科臨床エキスパート 黄斑疾患診療 A to Z 第2版. 岸章治, 吉村長久編集. 医学書院. 2022. 163-168.
7. 平形明人 (分担執筆): 近視性牽引黄斑症 (近視性中心窩分離症). 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一編集. 医学書院. 2022. 632-634.
8. 平形明人 (分担執筆): 乳頭小窩 (ピット) 黄斑症候群. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一編集. 医学書院. 2022. 724-726.
9. 平形明人 (分担執筆): 朝顔症候群. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一編集. 医学書院. 2022. 726-727.
10. Okada AA: Behçet's disease. Ophthalmology 6th Edition. Yanoff M, Duker J Eds. Elsevier. 2023. 760-763.
11. 岡田アナベルあやめ (分担執筆): 眼トキシソプラズマ症. 今日の眼疾患治療指針第4

版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 医学書院.
2022. 565-568.

12. 岡田アナベルあやめ (分担執筆): 眼トキシカラ症. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一編集. 医学書院. 2022. 568-569.

13. 岡田アナベルあやめ (分担執筆): 眼ヒストプラズマ症. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 医学書院.
2022. 569-570.

14. 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和 (共編): 眼科検査ガイド 第3版. 文光堂.
2022.

15. 山田昌和 (分担執筆): 前眼部写真の撮影法. 眼科検査ガイド 第3版. 飯田知弘, 近藤峰生, 中村誠, 山田昌和編集. 文光堂, 2022. 368-369.

16. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 (共編): 今日の眼疾患治療指針第4版. 医学書院. 2022.

17. 山田昌和 (分担執筆): 点眼と洗眼. 今日の眼疾患治療指針第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 医学書院. 2022. 245-246.

18. 山田昌和 (分担執筆): 角膜上皮の沈着物. 今日の眼疾患治療指針 第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 医学書院. 2022. 462-464.

19. 山田昌和 (分担執筆): 角膜実質の沈着物. 今日の眼疾患治療指針 第4版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 医学書院. 2022. 464-465.

20. 山田昌和 (分担執筆): 細隙灯顕微鏡の観察法. 新篇眼科プラクティス2 細隙灯顕微鏡の徹底活用. 園田康平 編集. 文光堂. 2022. 16-21.

21. 山田昌和 (分担執筆): フリクテン性角結膜炎. 新篇眼科プラクティス4 眼科薬物療法リファレンス. 大鹿哲郎, 園田康平, 近藤峰生, 稲谷大 編集. 文光堂. 2022. 50-51.

22. 山田昌和 (分担執筆): 院内感染対策. 新篇眼科プラクティス6 視能訓練士スキルアップ. 大鹿哲郎, 南雲幹 編集. 文光堂. 2022. 38-39.

23. 山田昌和 (分担執筆): 角膜疾患. 視能検査学第2版. 和田直子, 小林昭子, 中川真紀, 若山暁美 編集. 医学書院. 2023. 321-323.

24. 慶野博 (分担執筆): 急性前部ぶどう膜炎. 所見から考えるぶどう膜炎 第2版. 園田康平, 後藤浩 編集. 医学書院. 2022. 143-241.

25. 慶野博 (分担執筆): 感染性ぶどう膜炎, 悪性腫瘍の鑑別 —抗炎症療法を開始する前に—. 眼科プラクティス8 ぶどう膜炎の心得. 園田康平 編集. 文光堂. 2022. 35-38.

26. 慶野博 (分担執筆): ぶどう膜炎に対する免疫抑制薬, 代謝拮抗薬. 基本から学ぶ! ぶ

どう膜炎診療のポイント. OCULISTA. 111 号. 2022. 43-50.

27. 慶野博 (分担執筆): レーザーフレアメーター. 今日の眼疾患治療指針第 4 版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 2022. 65-67.
28. 慶野博 (分担執筆): 真菌性眼内炎. 今日の眼疾患治療指針第 4 版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 2022. 573-575.
29. 慶野博 (分担執筆): 全眼球炎. 今日の眼疾患治療指針第 4 版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 2022. 575-576.
30. 厚東隆志 (分担執筆): 増殖硝子体網膜症 (PVR). 新篇眼科プラクティス 3 OCT と OCTA が, わかる! 役立つ!. 近藤峰生 編集. 文光社. 2022. 170-171.
31. 鈴木由美 (分担執筆): 斜視・弱視 弱視治療のインフォームド・コンセント. あたらしい眼科. 39 巻臨増. 2022. 155-160.
32. 鈴木由美 (分担執筆): ファーストステップ! 子どもの視機能をみる. - スクリーニングと外来診療 -. 仁科幸子, 林思音 編集. 全日本病院出版会. 2022. 233-235.
33. 片岡恵子 (分担執筆): 脈絡膜の正常 OCT 所見. 新篇眼科プラクティス 3 OCT と OCTA が, わかる! 役立つ!. 近藤峰生 編集. 文光堂. 2022. 26-29.
34. 片岡恵子 (分担執筆): 日光網膜症. 今日の眼疾患治療指針第 4 版. 大路正人, 後藤浩, 山田昌和, 根岸一乃, 石川均, 相原一 編集. 2022. 1014-1015.
35. 中山真紀子 (分担執筆): Vogt-小柳-原田病. 新篇眼科プラクティス 3 OCT と OCTA が, わかる! 役立つ!. 近藤峰生 編集. 文光堂. 2022. 182-183.
36. 中山真紀子, 岡田アナベルあやめ (分担執筆): SUN 眼内炎症所見のグレーディングとその使用方法. 新篇眼科プラクティス 8 ぶどう膜炎の心得. 園田康平 編集. 文光堂. 2023. 33-34.

報告書

1. 山田昌和, 重安千花, 久須見有美: 分担研究報告書「前眼部形成異常の診療ガイドラインの普及・啓発活動」. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)). 「前眼部難病の標準的診断基準およびガイドライン作成に関する研究」. 2022.

その他

1. 山田昌和: 角膜カンファランス 2023 (第 47 回日本角膜学会・第 39 回日本角膜移植学

会)。パシフィコ横浜。2023年2月9日-11日。学会主催。

2. 岡田アナベルあやめ：国際コミュニケーション。日本網膜硝子体学会 Leadership Development Program。東京。2022年4月30日。
3. Okada AA: Interview on “Vogt-Koyanagi-Harada Disease” . the India Society of Uveitis Newsletter Edition #5 Volume #1. 2023年2月。
4. 山田昌和：“目の日焼け”症状は?子どもの時から目の紫外線対策が必要?. NHK ニュースウェブ。2022年6月29日。
5. 山田昌和：目の健康，アイフレイルを知ろう。J:COM テレビ市民講座。2022年6月1日。
6. 山田昌和：目の疲れはドライアイによる角膜の傷でも起きる。夕刊フジ。2022年10月9日。
7. 山田昌和：子どものドライアイ増加。中日新聞。2023年1月13日。